

2021年12月7日

報道関係各位

GMO あおぞらネット銀行株式会社

12月14日(火)19:00～ リアル&オンライン エンジニア向けイベント sunabar 主催「中の人と語る、今後求められる銀行 API」

GMO あおぞらネット銀行株式会社（以下、当社）は、2019年1月に、銀行API（アプリケーション・プログラム・インターフェースの略）の開発・提供を皮切りに、2020年4月 国内銀行初の常時開放したAPI開発のテスト環境「sunabar-GMO あおぞらネット銀行 API 実験場-」（以下、「sunabar」）スタートやイベント、セミナーの開催など、銀行API導入障壁を下げる取り組みを続けています。

これまでイベントやセミナーは、新型コロナウイルスの影響により、オンライン配信のみの開催でしたが、直近の東京都からの感染者数発表の推移を受けて、感染防止対策および上限数を設けたうえで会場（リアル）開催と、オンライン配信のハイブリット形式で、エンジニア向けのコミュニティイベントを12月14日（火）に実施することを決定いたしました。

【イベント：「中の人と語る、今後求められる銀行 API」内容】

昨今、決済アプリや給与前払いサービスなどの中に銀行APIが組み込まれ、私たちの日常生活における利便性が向上するサービス事例が増えています。本イベントは、給与前払いアプリ「プリポケ」を提供する株式会社マネーコミュニケーションズ 情報システム部長の望月 泉氏をお招きし、これからの世の中に求められる銀行APIの在り方やそれによるユーザー体験について座談会形式で語ります。また、当社が新たに取り組む「ichibar（イチバー）組込型金融マーケットプレイス」（以下、「ichibar」）についての最新情報をご紹介しますコンテンツも用意しています。オンライン配信後、会場では参加者同士のネットワーキングを予定しています。

■イベント企画

イベントタイトル	中の人と語る、今後求められる銀行 API
開催日時	2021年12月14日(火) 19:00～21:00 ※18:30 開場。オンラインは18:45より接続可能で20:15 終了となります。
内容 / スピーカー	1. 「中の人と語る、今後求められる銀行 API」座談会 登壇者：望月 泉 氏（株式会社マネーコミュニケーションズ 情報システム部長） 登壇者：岡田 修一（当社テクノロジー&プロセシンググループ 顧客サポートチーム チーム長） 司会：矢上 聡洋（当社 企画・事業開発グループ CTO） 2. ichibar 組込型金融マーケットプレイス update スピーカー：橋口 智典（当社 ichibar プロジェクトリーダー） 3. 会場（リアルのみ）：ネットワーキング（ソフトドリンク、スナック、お土産をご用意しております。）
参加人数	会場参加：先着20名様 / オンライン参加：先着300名様
参加方法 （事前登録）	■オフライン(会場：渋谷フクラス)でのご参加： https://connpass.com/event/232169/ よりお申し込みください。 ■オンラインでのご参加：会場の模様をオンラインにてご視聴いただけます https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_vQufbZhXQVq01MG7NK8s1Q ※ご登録いただいたアドレスに招待 URL が届きますので、当日はそちらの URL からご参加ください。
会場参加 いただく方へのお願い	・渋谷フクラス8階の受付にて、connpassの受付票のご提示をお願いいたします。 ※新型コロナウイルス感染防止の観点により、下記事項にご了承いただける方のみご参加いただけます。 ・マスクをご着用のうえ、ご来場をお願いいたします。 ・ご入場前に、検温と手指の消毒へのご協力をお願いいたします。

	・37.5 度以上の発熱がある方のご入場はお断りしておりますので、あらかじめご了承ください。
備考	※上記セミナーの内容や登壇者は、都合により変更となる可能性があります。あらかじめご了承ください。 ※各スピーカーのプロフィールは、「参加方法」に記載の各 URL よりご確認ください。

【「sunabar-GMO あおぞらネット銀行 API 実験場-」/「ichibar 組込型金融マーケットプレイス」とは】

IT用語のサンドボックスを意味する「砂場」と、人が集いグラスを交わす「Bar」を組み合わせ名付けられた「sunabar」は、銀行 API 導入障壁を下げる取り組みの一環として 2020 年に誕生しました。

現在、sunabar は、国内銀行初の常時開放した API 開発のテスト環境である「銀行 API 実験場」と、開発者が集う「エンジニアコミュニティ」、銀行機能や新技術提供などシステム面から新規ビジネスの機会創出を支援する「よろず開発支援室」、資金面から開発支援を行う「資金調達支援」の 4 つの役割をもち、お客さま企業のサービスへ付加価値を提供しています。

さらに 2021 年 8 月には、当社以外の方が、API や Visa デビット付キャッシュカード、支店など銀行機能をパーツとして組込、開発されたプロダクトやビジネスアイデアを流通させるエコシステム「ichibar 組込型金融マーケットプレイス」を開始し、さらなる組込型金融サービスの普及に努めています。



【GMO あおぞらネット銀行株式会社について】

「すべてはお客さまのために。No.1 テクノロジーバンクを目指して」をコーポレートビジョンに掲げ、新しいネット銀行として 2018 年 7 月に誕生しました。システム開発を内製化することで、お客さまに寄り添った金融・決済サービスをスピード感をもって提供しています。オンラインでの口座開設申込や、申込から利用開始までのスピード、各種手数料の安さ、利便性の高い資金調達サービス、銀行 API の充実などを理由に、スモール&スタートアップ企業のお客さまを中心にご利用が急増していることを受け、中長期の戦略として 3 つの大きな柱「1.スモール&スタートアップ企業向け銀行 No.1」、「2.組込型金融サービス No.1」、「3.テックファーストな銀行 No.1」掲げ、「お客さまのビジネスの成長 = 当社の成長」として、共に成長する銀行であるべく、当社一同、新たなシステムの開発や、サービスの提供などに向けて邁進しております。

【参考 URL】

かんたん組込型金融サービス	https://gmo-aozora.com/pfbank/
銀行 API 連携サービス	https://gmo-aozora.com/pfbank/api-cooperation/
銀行 API ラインアップ	https://gmo-aozora.com/pfbank/api-cooperation/apilineup.html
sunabar-GMO あおぞらネット銀行 API 実験場-	https://gmo-aozora.com/pfbank/sunabarinfo.html
ichibar 組込型金融マーケットプレイス	https://gmo-aozora.com/pfbank/ichibar/

【GMO あおぞらネット銀行株式会社 会社概要】

本店：東京都渋谷区道玄坂 1-2-3 渋谷フクラス

代表者：代表取締役会長 金子 岳人、代表取締役社長 山根 武

資本金：172 億 9,003 万円

設立年月日：1994 年 2 月 28 日

URL：<https://gmo-aozora.com/>

【API 接続サービスに関するお問い合わせ】

GMO あおぞらネット銀行株式会社 ビジネスソリューショングループ 組込型金融サービス事業統括チーム

E-mail：open-api@gmo-aozora.com

以上